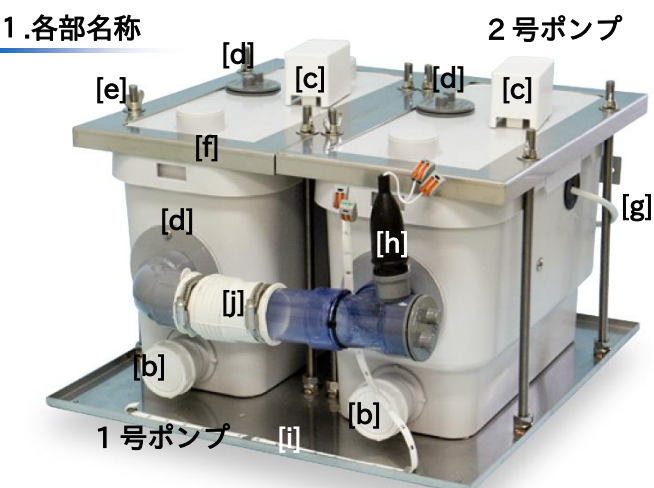
雑排 NPBW　施工説明書

本書は設置施工後、お客様へお渡しください。

1.各部名称

[a] 吐出管接続口　（25A）

[b] 雑排水管接続口（40A）キャップにて閉止

[c] キャニスタ S（通気用脱臭器）

[d] 点検口（試運転時注水口）

[e] 蓋開閉用蝶ナット

[f] 蓋開閉用フランジ枠

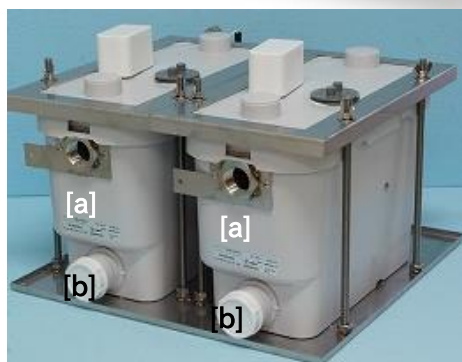
[g] 電源コード（2 極接地極付差込プラグ）×2

[h] 満水センサー（電極棒）

[i] 漏水検知帯

[j] オーバーフロー管

2.付属品

[j] [k] [l]

[j]　フレキゴムジョイント 40 × 4 個

[k]　ホースバンド 40-60　　× 8 個

[l]　警報盤

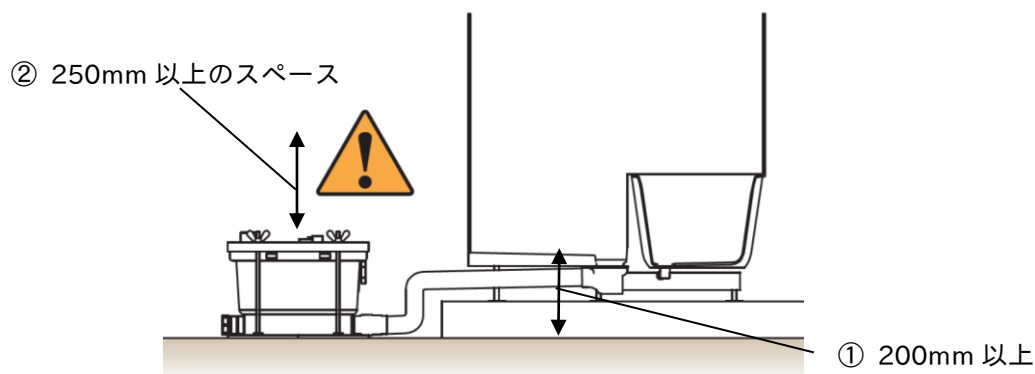
取扱説明書/保証書

施工説明書（本書）/警報盤の施工方法

3.配管施工例

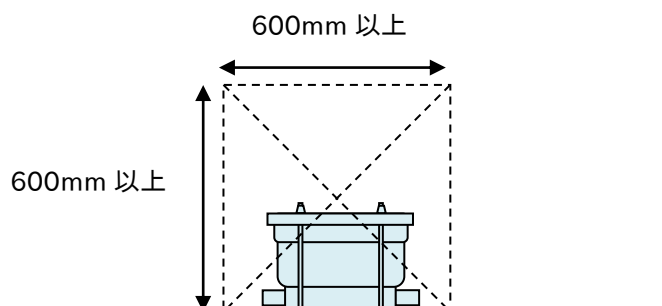
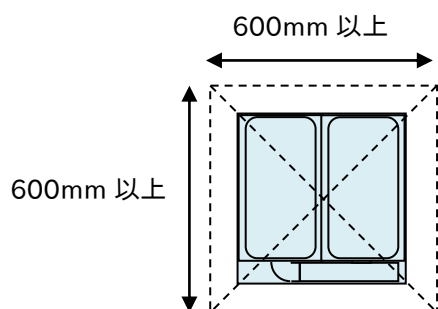
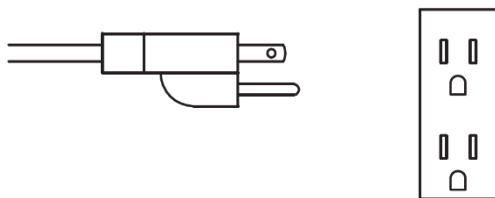
4.本体の設置

①排水器具を設置する高さは、本製品の設置レベルから、排水器具の排水芯で＋150mm 以上、および、排水器具のあふれ縁で＋200mm 以上を確保してください。

②ポンプユニット上部には 250mm 以上のメンテスペースを確保してください。

③ポンプユニットは水平に設置し、必要に応じて本体トレーをビス等で固定してください。

④ポンプユニットを隠蔽する場合は**メンテナンススペースを確保し、必ず点検口を設けてください**。

点検口の寸法は下図を参考にしてください。

■床下に隠蔽する場合（600mm 角以上）　■壁内に隠蔽する場合（H600mm×W600mm 以上）

⑤電源プラグは 2 極接地極付差し込みプラグです。専用回路にて接地極付コンセントを用意してください。

5.吐出管の配管方法

吐出管接続口[a]は内ねじ(R1)です。25A のおねじ継手を接続してください。

吐出管にはボールバルブまたはスリースバルブを必ず取り付けて下さい。

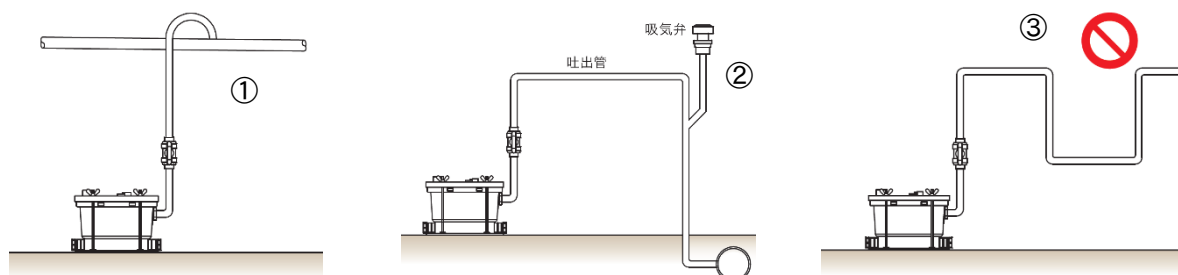
（試運転調整やメンテナンス時などに必要となります。）

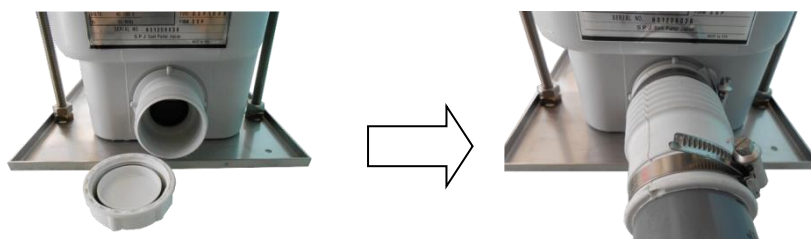
逆止弁はユニットに内蔵されているため、吐出管への取り付けは不要です。

ご注意！

①横引き管に接続する際は上部より接続してください。

②吐出管を設置レベルより下げる場合はサイフォン現象を防ぐために適切な場所に吸気弁を設けてください。

③吐出管は鳥居配管にならないように施工してください。

6.雑排水管の配管方法

雑排水管接続口[b]のキャップを外し、フレキゴムジョイント 40 のツマミがある側を根元まで差し込み、VP40A を差し込み、ホースバンド 40-60 で締め付けてください。

ご注意！

・2 号ポンプには接続しないでください。

・器具からポンプユニットまでの配管は適切な勾配（管径 65A 以下　1/50 以上）で配管してください。

・1 系統に 3 つ以上の設備を接続する場合、流入障害を防ぐために配管の適切な位置に通気管を設けてください。

・冷蔵庫排水などの排水発生レベルの低い設備とシンク・グリストラップ排水は合流させず個別に 2 系統にて配管し、1 号ポンプにメイン排水接続、2 号ポンプにドレン排水を接続してください。

7.通気管の配管方法

本製品はキャニスタ S（通気用脱臭器）が標準装備となっているため、通気管の施工は不要です。

ご注意！

ポンプユニットには吸排気が必要のため、吸気弁（ドルゴなど）の使用はできません。

8.警報盤の施工

別添の「警報盤の施工方法」を参照ください。

9.試運転

9-1.ポンプの試運転

・通電されていることを確認し、バルブを全開にします。

・ポンプユニットの点検口から注水（5L 以上)、または接続されている器具から排水し運転と停止を確認してください。配管接続部などからの水漏れがないことを確認します。

・吐出管の配管長・管径に応じて 1〜5 分程度の連続排水による試運転を実施します。

9-2.バックアップ機能・警報機能の確認

・1 号ポンプの電源プラグを抜き、接続されている器具から排水し、2 号ポンプへ排水をオーバーフローさせます。正しくアラームが発報されること・2 号ポンプがバックアップ運転することを確認します。1 号ポンプの電源を投入しポンプを作動させ、アラームが消えることを確認します。

※アラームが消えないときは[j]オーバーフロー管の掃除口から満水センサーに付着した水を拭います。

・漏水検知帯に水を付着させ、正しくアラームが発報されることを確認します。付着させた水を拭い、アラームが消えることを確認します。

10.本体蓋の開け方・ポンプユニットの取り出し方

①蝶ナット 4 個を外してステンフランジを取りポンプの蓋を外します。

②ウオーターポンププライヤーで袋ナットを外して下さい

③電源コードのゴムカバーを外側から押し込んで外し、ポンプユニットを上に取り出して下さい

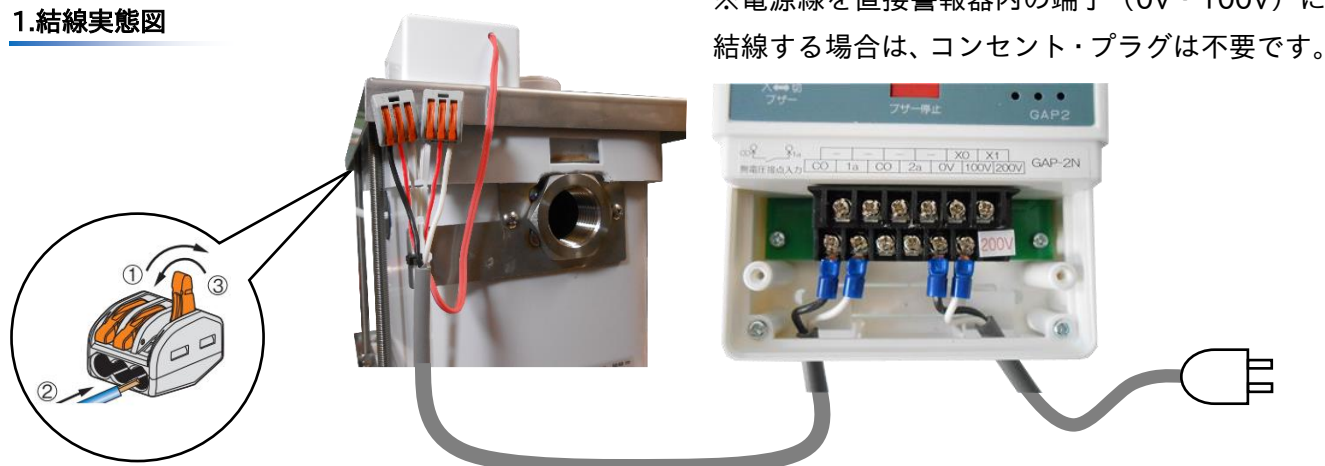
11.本体蓋の取り付け方

本体ケースにゴムパッキンを取り付けます。

蓋を本体ケースに取り付け、フランジ枠を取り付けて蝶ナットで締め込みます。

ゴムパッキンが見えなくなるまで締め込んで下さい。

警報盤の施工方法

1.結線実態図

※電源線を直接警報器内の端子（0V・100V）に結線する場合は、コンセント・プラグは不要です。

2.取付寸法 （単位：mm）

R2.5
R5
ノックアウト参考寸法
(11×60)
2-φ5
(11)
115(取付ピッチ)
14
72(取付ピッチ)
7.5

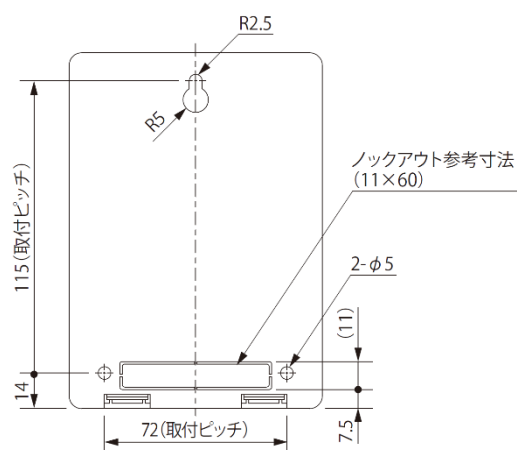
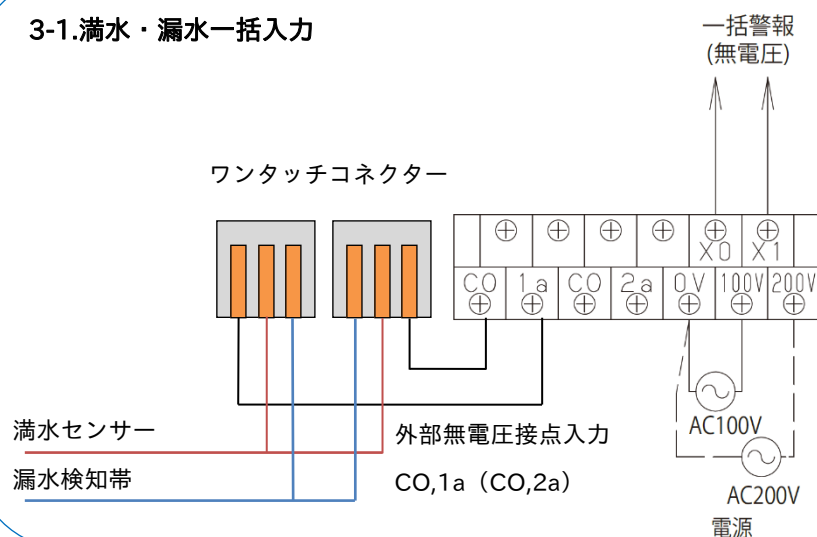
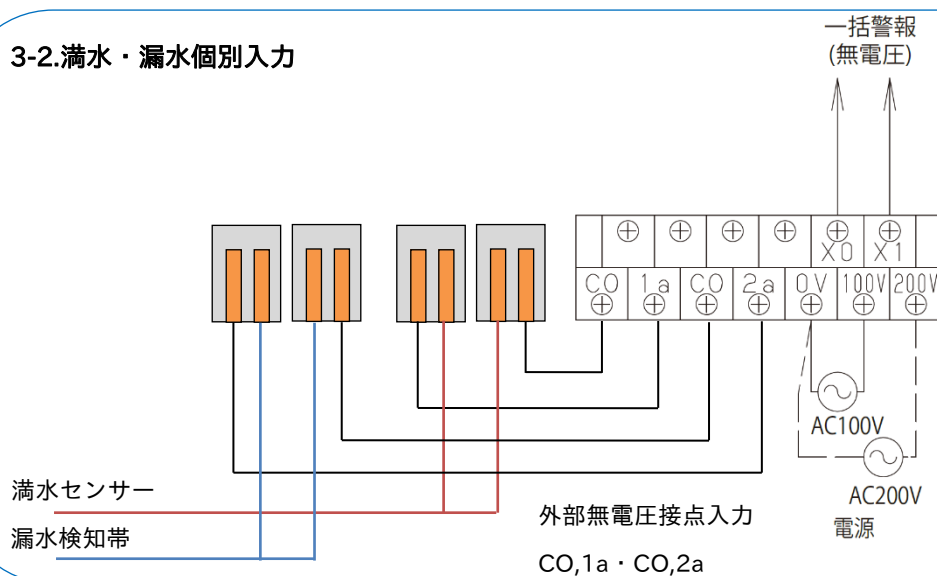
3.結線図

3-1.満水・漏水一括入力

一括警報
(無電圧)
ワンタッチコネクター
X0 X1
CO 1a CO 2a 0V 100V 200V
AC100V
AC200V
電源
満水センサー
漏水検知帯
外部無電圧接点入力
CO,1a（CO,2a）

3-2.満水・漏水個別入力

一括警報
(無電圧)
X0 X1
CO 1a CO 2a 0V 100V 200V
AC100V
AC200V
電源
満水センサー
漏水検知帯
外部無電圧接点入力
CO,1a・CO,2a

有限会社スマートポンプジャパン　https://www.smartpump.jp/

東京都世田谷区北沢 3-2-16　TEL:03-5738-7440　FAX:03-5738-7441